

埼玉県議会議員

細川 たけし

●発行 埼玉民主フォーラム・越谷第1支部

〒343-0022 越谷市東大沢2-4-2

電話/FAX 048-971-6566

info@hosokawa-takeshi.com

https://hosokawa-takeshi.com



ご挨拶

令和7年9月定例県議会は、9月24日に開会し、10月15日に閉会いたしました。今定例会、私が所属する八潮市道路陥没事故調査特別委員会では、道路陥没事故への補償や復旧工事など、県民の安全と安心に関わる重要な事柄が審議されました。

また、物価高騰が続くなか、生活や経済活動を支える施策の充実、そして少子化・高齢化が進む社会における支援のあり方など、県政が直面する課題は多岐にわたっています。こうした中、県議会では「現場の声を県政へ」という原点を忘れず、実効性のある議論を積み重ねてまいりました。私も所属する各委員会では、環境・福祉・インフラなど幅広い分野から県政をチェックし、より暮らしやすい埼玉の実現に向けて取り組んでおります。本レポートでは、その概要と活動内容を報告いたします。



9月定例会

9月定例会の概要

今回の補正予算では、八潮市で発生した道路陥没事故の対応の他にも、道路・河川などの公共事業の追加や、医療提供体制の充実、児童相談所の整備費増額などが盛り込まれました。一般会計では総額約88億円を増額し、県全体の予算規模は約2兆2,490億円となっています。

また、流域下水道事業会計では、事故対応に伴う補償・復旧工事費など約63億円が計上されました。さらに、川口北警察署新庁舎の工事費変更なども審議・可決されました。

今定例会は、県民の安全・安心を守るための迅速な対応と、社会の変化に対応した予算措置が中心となりました。

各委員会の質疑内容

◎八潮市道路陥没事故調査等特別委員会

●健康調査について

【問】八潮市で発生した道路陥没事故に関し、住民アンケートでは、頭痛や睡眠障害、呼吸器疾患の悪化、精神的不安など、健康への影響を訴える声が多数寄せられている。県として、医療機関や専門家と連携し、住民や周辺事業者、事故対応に関わった従事者を対象とした長期的な健康調査を実施する考えはあるか？

【答】現時点で、県として健康検査などの実施は予定していない。健康面での不安がある場合は、個別に医療機関を受診

していただきたいと考えている。

【再質】健康被害に対する県の姿勢が消極的であると感じる。事故の影響は長期化しており、住民の不安は解消されていない。今後、少なくとも健康相談体制を充実させるなど、実態の把握に努めるべきではないか？

【答】住民からの相談については、市や関係機関と連携しながら対応していく。体調の変化などについては、必要に応じて医療機関や保健所と協力し、支援できるよう検討する。



10月10日 読売新聞





各委員会の質疑内容

◎環境農林委員会

●環境科学国際センターについて

【問】センターは、気候変動や環境汚染などの課題に対して科学的な研究を進める県の拠点であるが、企業と行う共同研究が急増している理由とその成果は？

【答】展示会などの発信を積み重ねた結果、企業からの信頼と関心が高まった。また、職員の意識も変化し、研究成果を社会で活かそうとする姿勢が強まっている。

●県産木材の利用を進めるための新たな条例(案)について

【問】森林所有者が自分の山を正確に把握しているのか、そして県はどの程度その所有者の情報を把握しているのか？

また、都市部では森林が身近でないことから、県産木材の魅力を感じられる機会を増やすべきではないか？



【答】所有者全てを常時把握するのは難しいが、市町村が森林環境譲与税を活用し、所有者への意向調査や森林整備支援を行っている。また、県産木材の利活用について、学校や図書館など公共施設に県産木材を活用し、木のぬくもりを身近に感じてもらう環境づくりを進める

◎少子・高齢福祉社会対策特別委員会

●災害時における医薬品の供給体制について

【問】災害時において、慢性疾患の薬が届かず体調を崩す事例が報道されているが、県はどのように薬を確保し、患者へ届けるのか。

【答】慢性疾患用医薬品は医薬品卸業者等との協定に基づき、必要時に迅速に供給できる体制を整えている。平時から訓練を行い、災害時優先電話などで連絡を確保している。備蓄規模は第一次体制で約4万3千人分、軽治療用で4万人分、ランニング備蓄で3万人分である。



視察

7月23、24日 少子・高齢福祉社会対策特別委員会

8月18日 環境農林委員会

8月26日 八潮市道路陥没事故調査等特別委員会



福井大学子どものこころの発達研究センター(多様な子どもへの支援について・福井県)



金沢市農業協同組合(農福連携の取組について・石川県)



埼玉工業大学クリーンエネルギー技術開発センター(脱炭素社会モデル構築の研究推進・深谷市)



株式会社はせがわ農園(農業経営の多角化・行田市)



新河岸川水循環センター(下水道施設の老朽化の状況・和光市)

9月4、5日 会派視察



佐久総合病院

議員活動

7月4日 浦和野田線建設促進期成同盟会定期総会

7月13日 消防団訓練

7月～8月 各地域夏祭り



8月22日 防犯パトロール



9月3日 シェイクアウト訓練



9月7日 九都県市合同防災訓練



9月～10月 各地区体育祭



9月28日 第50回越谷市民祭り



Profile

細川 威 48歳

ほそかわ たけし

県議会：環境農林委員会、
少子・高齢福祉社会
対策特別委員会

会 派：埼玉民主フォーラム

政 党：立憲民主党

<経歴>

1977年 7月埼玉県浦和市に生まれる
1982年 越谷市に移住
1990年 越谷市立弥栄小学校卒業
1993年 越谷市立北陽中学校卒業
1996年 獨協埼玉高等学校卒業
2001年 東海大学工学部卒業
2003年 (国立)北陸先端科学技術大学院大学修了
2003年 衆議院議員 細川律夫事務所 秘書
2007年 越谷市議会議員選挙 初当選
2011年 埼玉県議会議員選挙 惜敗

細川 たけしオフィシャルサイト▶

・NPO事務局長、運送会社で働きながら
政治活動を行う
2015年 越谷市議会議員選挙 2期目当選
2019年 越谷市議会議員選挙 3期目当選
2023年 埼玉県議会議員選挙 初当選

<家族> 妻と子ども(高校生、小学生)

<趣味> 阿波踊り、野球



埼玉県議会議員

細川 たけし

●発行 埼玉民主フォーラム・越谷第1支部

〒343-0022 越谷市東大沢2-4-2

電話/FAX 048-971-6566

info@hosokawa-takeshi.com

https://hosokawa-takeshi.com



ご挨拶

社会や経済を取り巻く環境が大きく変化する中で、政治には、暮らしに寄り添った判断と責任ある対応が一層求められています。12月県議会では、こうした社会状況を踏まえ、物価高への対応や県民の安全・安心を守る施策を中心に、慎重な審議が行われました。県議会は、県民の代表として議論を尽くすとともに、国の動向を踏まえながら、市町村と緊密に連携し、実効性ある政策につなげていく役割を担っています。本レポートでは、12月定例会における主な議論や決定事項について概要をお伝えしております。今後も県民の声に真摯に向き合い、信頼される県政の実現に向け、全力で取り組んでまいります。

12月定例会の概要

12月県議会が開催され、物価高騰やエネルギー価格上昇への対応、そして県内経済の回復と成長を目指すための諸議案が提出され、すべて可決されました。補正予算では、公共工事の施工時期を平準化し、建設業者の経営安定と適正な工期確保を図るための議案が可決しました。また、農業分野では、水利施設の電力料高騰や渇水対策に取り組む管理者への支援、さらに家畜保健衛生所の建設工期延長に伴う予算調整が可決されました。そのほか、下水道管破損による道路陥没の復旧工事費の追加、カスタマーハラスメント防止条例の制定、さいたまスーパーアリーナ改修に関する契約議案なども承認されました。県としては、国の経済対策と連携し、物価高の



12月 消防操法大会出場隊選考会に参加



影響を受ける県民や事業者への支援を着実に進め、地域経済の安定と成長に取り組む方針が示されました。さらに、最終日前日に追加された追加補正予算では、物価高騰への緊急対応、防災・減災対策、クマ対策の強化などの議案が提出され可決致しました。生活者向けにはLPガス料金や学校給食費の負担軽減を、事業者向けには特別高圧電力を使用する中小企業、医療・福祉・畜産関係事業者への支援を実施します。あわせて、公共事業の前倒しを進めるとともに、クマによる被害防止に向けた捕獲体制強化や環境整備にも取り組みます。

これらを含む一般会計補正予算額は約750億円となります。

環境農林委員会（主な議案）

- エネルギー価格の高騰や渇水等の影響により、水利施設を管理する土地改良区の負担が増加していることから、電力料の高騰分や渇水時の応急対応費を補助する支援制度（約1,400万円増額）が可決しました。
- 年度末に工事が集中し入札不調などが起きやすい現状

を改善するため、令和8年度予算の一部を前倒しで発注可能にする「ゼロ債務負担行為」を治山事業（約1億5千万円）にて設定しました。施工時期の平準化により、県内建設業者の経営安定と災害関連工事の迅速化を図る狙いがあります。



少子・高齢福祉社会対策特別委員会

①出会い・結婚支援（SAITAMA出会いサポートセンター）

質問 登録者数の拡大が成婚につながるとの観点から、公的な強みや安全性をどのように周知しているのか？また、民間マッチングアプリで問題となるロマンス詐欺等への対策をどう講じているのか？

答弁 県は、公式ホームページで公的機関であることや本人確認の厳格さをPRするとともに、SNSや検索連動型広告を活用し周知を強化。利用登録時には独身証明書の提出を必須とし、写真付き身分証による面談確認を行うなど、なりすまし防止と安全性確保に努めている。





少子・高齢福祉社会対策特別委員会

②放課後児童クラブの充実

質問 小学校入学後に放課後児童クラブへ入れず、低学年児童が一人で過ごさざるを得ない実態がある。待機児童の実数把握と、施設整備や人材確保に対する県の具体的支援策は？

答弁 令和7年5月時点の待機児童は1,682人で、前年より450人減少。施設整備では創設・改修補助が過去5年で最多の39件。学校施設の活用も教育委員会と連携して促進している。また、児童館等を活用した「放課後居場所緊急対策事業」を実施し、人材面では就職フェアやPR動画の作成により支援員確保を進めている。

③ 児童虐待防止対策(医師・歯科医師との連携)

質問 虐待の早期発見には医師・歯科医師の役割が重要である。兆候に気づいた際に安心して相談・通報できる体制や、学校健診との連携は？

答弁 妊産婦については「養育支援連絡票」により市町村と情報共有し、必要な支援につなげている。歯科医師については県歯科医師会と連携した「こどもの健口支援事業」を実施。学校健診との連携については、今後、医師・歯科医師会等と仕組みづくりが可能か検討する。

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会

八潮市で発生した道路陥没事故では、周辺の皆さまが長く不安やご不便を抱えておられ、その心労は計り知れません。県は下水道管の復旧工事や国からの財政支援の確保を進めていますが、総額278億円を超える大きな事業であることから、状況の丁寧な説明と、より分かりやすい情報発信が求められます。補償についても、自動車部品の腐食や電気代の増加、家屋への影響など、それぞれの事情に寄り添った対応をさらに進める必要があります。健康面の不安に対する相談体制の整備も重要です。県には、住民の皆



八潮市道路陥没事項調査等特別委員会の様子

さまの生活が一日も早く元に戻るよう、丁寧に透明性の高い対応と、再発防止に向けた取り組みを引き続き求めてまいります。

活動日誌



10月26日
越谷市長選挙



11月2日 越ヶ谷高等学校
創立100周年記念式典



11月9日
消防特別点検



11月12日
越谷警察署新庁舎開署式



11月14日
越谷市の治水対策要望書



11月19日
カゴメ野菜生活Farm視察



11月19日
連合埼玉躍進パーティー



11月27日 子ども食堂視察



11月30日
埼玉県農業大学
創立80周年
記念式典



11月30日 こしがや産業フェスタ



12月6日
産地地消フェスタ



12月20日 こしがや介護フェスタ

Profile

細川 威 48歳

ほそかわ たけし

県議会：環境農林委員会、
少子・高齢福祉社会
対策特別委員会
会 派：埼玉民主フォーラム
政 党：立憲民主党

<経歴>

1977年 7月埼玉県浦和市に生まれる
1982年 越谷市に移住
1990年 越谷市立弥栄小学校卒業
1993年 越谷市立北陽中学校卒業
1996年 獨協埼玉高等学校卒業
2001年 東海大学工学部卒業
2003年 (国立)北陸先端科学技術大学院大学修了
2003年 衆議院議員 細川律夫事務所 秘書
2007年 越谷市議会議員選挙 初当選
2011年 埼玉県議会議員選挙 惜敗

細川 たけしオフィシャルサイト ▶

・NPO事務局長、運送会社で働きながら
政治活動を行う
2015年 越谷市議会議員選挙 2期目当選
2019年 越谷市議会議員選挙 3期目当選
2023年 埼玉県議会議員選挙 初当選

<家族> 妻と子ども(高校生、小学生)
<趣味> 阿波踊り、野球



埼玉県議会議員

細川 たけし

●発行 埼玉民主フォーラム・越谷第1支部

〒343-0022 越谷市東大沢2-4-2

電話/FAX 048-971-6566

info@hosokawa-takeshi.com

https://hosokawa-takeshi.com



ご挨拶



令和8年度予算要望回答を知事から受取る

3月17日 石油価格高騰に伴う
緊急要望を知事に提出

令和8年2月定例県議会では、一般会計で約2兆4千億円規模の当初予算が提案され、人口減少・少子高齢化への対応や、防災・減災対策の強化など、県政の重要課題について議論が行われ、全て可決しました。中でも、越谷市において重要となる治水対策についても計上され、近年の豪雨災害の激甚化を踏まえ、河川整備や調節池の整備など、

地域の浸水被害を防ぐ取組が着実に進められています。

県政の課題は多岐にわたりますが、大切なのは、県民の皆様の暮らしにとって何が本当に必要かを見極め、一つ一つ着実に前へ進めていくことです。これからも皆様の安心・安全、そして暮らしやすさの向上につながる取組を粘り強く進めてまいります。

令和8年度の主な予算について

高齢者等の移動を支える地域公共交通の強化 約1.6億円

移動手段の確保が課題となる中、バス路線の維持やDXツールの導入、運転手確保支援を実施。高齢者の通院や買い物など日常の移動を支えます。

小学校の給食費の負担軽減へ 約191億円

県立特別支援学校の小学部に通う児童に加え、市町村を通じて市町村立小学校の児童にも給食費を補助します。

私立学校の負担軽減事業 約342億円

私立高校や幼稚園、専修学校などに通う家庭の負担を軽減するため、授業料や入学金などへの補助を実施します。

子育て世帯への支援を強化 約13億円

誰でも利用できる通園制度の本格実施や、多子世帯の保育料軽減などにより、子育て家庭の負担軽減を進めます。

水害から命と暮らしを守る治水対策を推進 約144億円

河川や調節池、排水機場の整備を進めます。特に、越谷市では調節池の整備が進められており、水害リスクの軽減に向けた取組が強化されています。

小規模事業者の経営を強力支援 約35億円

商工団体等を通じて、小規模事業者の経営相談や専門家派遣などを支援します。あわせて、職員の育成や商工団体の運営強化を図り、地域経済の持続的な発展につなげます。





少子高齢福祉社会対策特別委員会

● 介護離職防止と人材定着へ、さらなる取組強化を

介護離職防止と、深刻化する介護人材不足への対応について質疑を行いました。県からは、育児・介護休業法の改正内容について、セミナーや出前講座、経済団体を通じた周知を進めていること、また介護人材の定着に向けては新任職員向け研修を実施し、274人が参加、満足度も99%と一

定の効果があるとの答弁がありました。しかし、制度は現場で活用されてこそ意味があり、また人材不足も依然として厳しい状況が続いています。今後も、企業への周知を一層強化するとともに、介護人材の定着につながる実効性ある支援の充実に強く求めます。

環境農林委員会

● 県産木材の活用と農業の収益力向上を問う

県産木材については、主にスギ・ヒノキが建築用材として利用されており、価格は国産材や外国産材と大きな差はなく、品質も確保され十分な競争力を持つことが確認されました。また、「もうかる農業」を実現するために設定した売上

1,000万円の指標については、高付加価値化や品目転換を含めた収益性の向上を測るものであり、物価高などの影響も踏まえて設定されているとのことでした。今後も、農業者の所得向上につながる施策が着実に進むよう、引き続き取り組んでまいります。

八潮市道路陥没事故調査等特別委員会

今回の委員会では、下水道管の点検のあり方や再調査の仕組みなどについて、いくつかの課題が見えてきました。現在、県では再発防止に向けて、下水道の複線化の検討や、AIや3Dデータを活用した新たな点検手法の導入などが進

められています。こうした取組が、将来にわたる安全性の向上につながっていくことが期待されます。今後も、現場の状況や対策の進捗を注視しながら、県民の皆様が安心して暮らせる環境づくりにつながるよう取り組んでまいります。

活動日誌



1月1日
越谷市元旦マラソン



1月6日
連合埼玉2026新春の集い



1月9日 主要5団体新春賀詞交歓会



1月11日 20歳の集い



1月25日
大沢地区主要団体新年



2月7日
越谷市PTA連合会 文化の集い



2月10日
「地下鉄8号線の早期建設並びに延伸誘致」に関する知事要望



2月22日
東京直結鉄道建設・誘致促進大会 総決起大会



3月8日
越谷市華道協会展



3月14日
大袋地区センター・公民館竣工式典



3月22日
消防団「ホースの延長収納訓練

Profile

細川 威 48歳
ほそかわ たけし

県議会：環境農林委員会、
少子・高齢福祉社会
対策特別委員会
会 派：埼玉民主フォーラム
政 党：立憲民主党

<経歴>

1977年 7月埼玉県浦和市に生まれる
1982年 越谷市に移住
1990年 越谷市立弥栄小学校卒業
1993年 越谷市立北陽中学校卒業
1996年 獨協埼玉高等学校卒業
2001年 東海大学工学部卒業
2003年 (国立)北陸先端科学技術大学院大学修了
2003年 衆議院議員 細川律夫事務所 秘書
2007年 越谷市議会議員選挙 初当選
2011年 埼玉県議会議員選挙 惜敗

細川 たけしオフィシャルサイト ▶



・NPO事務局長、運送会社で働きながら
政治活動を行う

2015年 越谷市議会議員選挙 2期目当選
2019年 越谷市議会議員選挙 3期目当選
2023年 埼玉県議会議員選挙 初当選

<家族> 妻と子ども（高校生、小学生）

<趣味> 阿波踊り、野球

「信頼」でつくる、くらしの安心と地域の未来。

県政レポート春号

埼玉県議会議員（上尾市・伊奈町選出）

まちだ皇介

こうすけ

まちだ 皇介

プロフィール

1979年7月31日生。身長188cm。上尾市緑丘在住。

桶川市立川田谷小学校、桶川西中学校、蕨高校、日本大学商学部卒業。

大学卒業後、テレビ番組制作会社、代議士事務所勤務。

2007年 上尾市議会議員に28歳で初当選。以後、3期連続当選。2017年 上尾市議会副議長。

2019年 埼玉県議会議員(南13区上尾市・伊奈町)に初当選。2023年 2期目の当選。



八潮市内で発生した道路陥没事故とインフラの再構築に向けて

本年1月28日、八潮市内の県道で道路陥没事故が発生しました。被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。また、伊奈町を含む流域12市町の皆様には、一時的な下水道使用の自粛にご協力いただきましたことに、深く感謝申し上げます。この事故は、交通インフラと下水道施設に関わる重大な事案であり、県民の皆様には大きな不安と混乱をもたらしました。埼玉県では、事故直後から被害者救出を最優先に対応し、29日には危機対策会議を開催。その後、災害対策本部を設置し、災害救助法も適用され、応急対策や被災者支援が進められました。

私が所属する埼玉民主フォーラムでは、1月30日に大野知事へ緊急要請を行い、人命救助の徹底、早期復旧、再発防止を強く求めました。2月定例会では、掘削作業や仮排水設備のバイパス工事などに必要な総額90億円の流域下水道事業会計補正予算が可決され、現在も応急工事が続いています。また、県は専門家による「原因究明委員会」と「復旧工法検討委員会」を設置し、事故原因の徹底調査と再発防止策の検討を進めています。加えて、県内の類似施設に対する緊急点検にも着手し、下水道インフラの安全性確保に向けた体制強化が図られています。

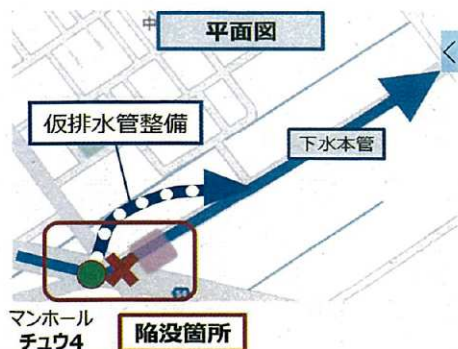


1月30日に早期復旧等を求め知事に緊急要請

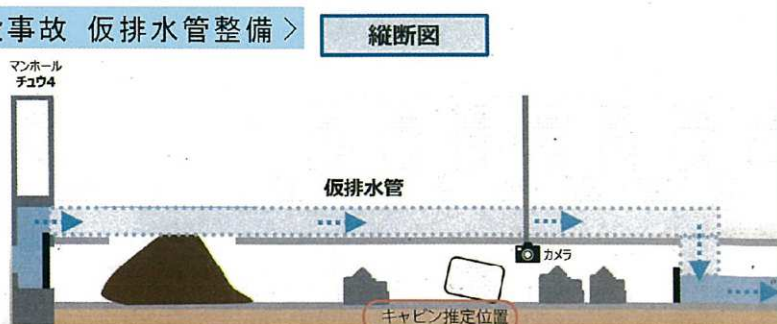
埼玉県では、高度経済成長期に全国に先駆けて流域下水道の整備を進めてきましたが、現在では施設の老朽化が深刻化し、維持管理や更新が大きな課題です。老朽化した下水道管の耐震化・更新には莫大な財源と時間を要します。人口減少と少子高齢化が進む現代においては、従来の一極集中型から小規模処理施設や合併浄化槽を活用する「分散型処理システム」への転換も重要な検討課題です。

私たち埼玉民主フォーラムは、予算特別委員会の総括質疑を通じて、下水道施設に限らず、県内インフラ全体のあり方を抜本的に見直す必要性について提言しました。

持続可能なインフラの維持管理に向けては、新技術の導入や官民連携、財源確保の工夫が不可欠です。引き続き、県民の皆様への安心・安全な暮らしを支える基盤整備の構築のため、全力で取り組んでまいります。



< 八潮市道路陥没事故 仮排水管整備 >



2月定例会報告

2月19日から3月27日までの会期で開催された2月定例会では、2兆2,309億円(前年度比5.2%増)の令和7年度一般会計当初予算や、八潮市で発生した道路陥没事故に伴う仮排水のバイパス工事費など、復旧に向けた総額90億円の流域下水道事業会計補正予算を含む、計106議案が可決・同意されました。

今回の当初予算は、人口減少・超高齢社会や激甚化する自然災害などへの危機対応、「日本一暮らしやすい埼玉」の実現に向けた施策が幅広く盛り込まれています。

私たちがこれまで提言してきた、介護・医療人材の確保、保育士等の処遇改善、DXによる教職員の働き方改革、中小企業の人手不足や価格転嫁への支援、警察官の増員、精神障害者手帳2級所持者への精神科通院費助成など、新規・拡充の事業を含め、施策の前進が見られたことから、会派として賛成しました。

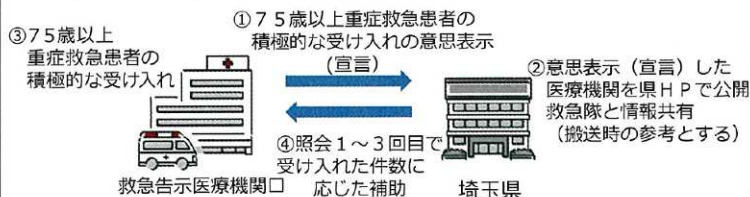
また、新年度からの所属委員会等の変更がありました。私、まちだは、議会運営委員会、総務県民生活委員会、自然再生・循環社会対策特別委員会に所属することとなりました。

令和7年度当初予算の主な新規事業

◆75歳以上の搬送困難患者の救急受入体制の整備

1億3,120万円

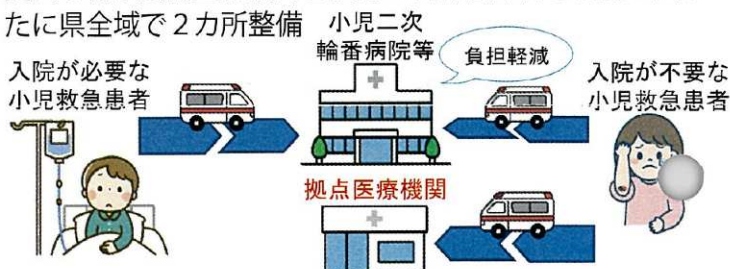
▶75歳以上の重症救急患者を積極的に受け入れるためのインセンティブとして、医療機関への補助制度を創設



◆夜間小児初期救急患者の受入体制の整備

4,448万円

▶夜間(22時~翌8時)における小児初期救急患者の受入を行う拠点医療機関を小児二次輪番体制とは別に、新たに県全域で2カ所整備



◆朝のこどもの居場所づくりモデル事業 557万円

▶小学校等に見守り員を配置し、「朝のこどもの居場所づくり」の整備をモデル事業として取り組む市町村に対して補助を実施し、検証を行う

上尾市・伊奈町に関係する主な事業

◆中央児童相談所一時保護所 解体・建設工事

(管轄区域:上尾市・伊奈町含む8市町) 4億5,245万円

【開設時期】令和9年度予定

【建築概要】2階建て/定員30名

【施設の特徴】①一時保護児童の居室の個室化

②シャワー・トイレ付居室③学習室の充実

スケジュール(見込み)

R7年度	R8年度	R9年度
解体	建設工事	開設・運営
	仮設運営	解体

◆埼玉未来大学におけるリスキリング支援

(県民活動総合センター内)

3,199万円

▶50歳以上の埼玉都民向け広報と意識変容

無料⇒地域活動への導入セミナー、地域ビジネス・市民活動等の基礎講座

▶NPOや地域ビジネスの起業・運営を学ぶオンラインコースを新設



◆スポーツ科学拠点施設整備事業基本計画の見直し

2,756万円

▶Park-PFI手法により上尾運動公園東エリアと一体的に整備することとしていた基本計画を見直し、競技力向上施設と体育館を中心に、導入機能や整備手法を再検討

▶競技力向上施設と既存施設との相乗効果が生み出せよう、公園西エリアの施設や県立武道館等と連携した上尾運動公園再整備に向けた調査・検討を実施

【これまでの流れ】

昨年7月末に応募登録していた民間事業者が辞退したことにより、公募は不調となりました。これを受け、改めて民間事業者からのサウンディング調査(意見聴取)を実施し、その結果を踏まえて、令和6年度末を目途に「公募設置等指針」の見直しを進める予定でした。

しかし、実施したサウンディング調査においては、事業手法そのものへの懸念に加え、アリーナ・ホテル・レストランなど必須施設の独立採算性や、長期契約に伴う金利変動リスクへの不安など、厳しい意見が多数寄せられました。このような状況を受け、結果的に基本計画そのものを再度見直すこととなりました。

【発行】埼玉民主フォーラム上尾・伊奈支部 〒362-0036 上尾市宮本町10-26 佐藤ビル102

TEL:048-729-6272 FAX:048-729-6342 Eメール machida188.machida@gmail.com

まちだ 皇介

検索 ▶ まちだ皇介

ホームページはこちらをご覧ください▶▶▶



水村あつひろ

ニュース

埼玉民主フォーラム facebook

2025年4月発行 令和7年度予算特集号

【山あり、谷あり、プロフィール】1974年 所沢市上安松生まれ。

私立慈光幼稚園、市立松井小学校、市立東中学校を卒業。

豊島実業高等学校（現：豊島学院高等学校）を中退後、フリーター、会社員を経験。

この時の経験から『社会で苦勞をしている人々の力になりたい』と、政治家になる事を志して、

一念発起して26才で大学へ進学。（在学中は雄弁会にも所属）

拓殖大学政経学部卒業後に、2004年 所沢市議会議員に初当選。2007年に2期目の当選。

2011年 埼玉県議会議員に初当選（西1区＝所沢市）2015年2期目の当選。

2019年3期目の当選。2023年4期目の当選。



迫りくるインフラ老朽化

新年度予算・医療提供体制強化

所沢市中核市移行

今号の
目次

八潮市内道路陥没事故の現状と、迫りくるインフラ老朽化の対策見直しを！

1月28日に八潮市内で発生した道路陥没事故により、被害に遭われた方々に心よりお見舞い申し上げます。埼玉県では、事故直後から被害者の救出を最優先とし、被害の拡大防止や県民への影響を最小限に抑えるべく対応を進めてまいりました。12市町120万人の県民および事業者の皆さまへ下水の使用自粛を呼びかけ、29日未明には県危機対策会議を開催。また**災害対策本部を設置し**、八潮市について**災害救助法を適用**しています。

水村議員の所属する埼玉民主フォーラムでは、1月30日に大野知事へ、人命救助の徹底・早期復旧・再発防止のための**緊急要請**を行いました。

現在、事故現場では転落した車両の運転席部分に向けた掘削や、仮排水管設備のバイパス工事が進められています。

また、再発防止に向けて専門家による**事故原因究明委員会を発足**させ、今夏を目標に中間報告書を取りまとめる予定です。



1月30日に知事に人命救助・早期復旧・再発防止を求めて緊急要請

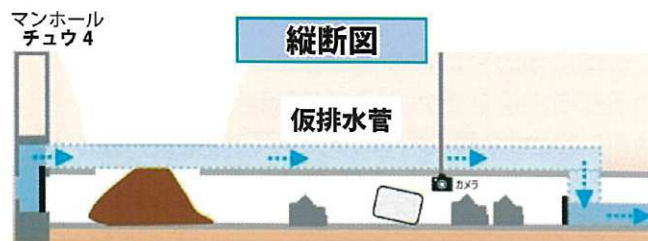
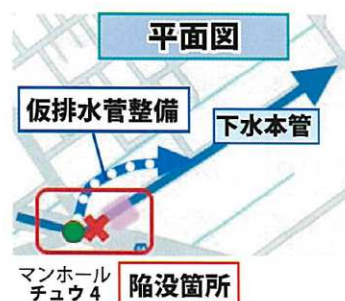
一方、2月下旬には**所沢市内で老朽化した水道管の破裂**により、道路冠水や断水が発生しました。原因は1979年に埋設された水道管の腐食です。このように、県内では人口急増期に整備された**インフラの老朽化**が大きな課題となっています。

この事故を受け、**県全体のインフラ管理体制の**

見直しが必要です。1点目は老朽化した設備の点検頻度を増やし、ドローンやAIなど最新技術を活用した測定・監視・分析を強化し、潜在的リスクを早期に発見、安全性と効率性を両立させ、事故を未然に防ぐ仕組みへの改革が求められます。2点目に人口減少時代に突入し、下水道インフラでは、小規模処理施設や分散型処理システムの導入などを検討し、**持続可能な仕組みを構築する必要があります。**会派として予算特別委員会でこの2点を提案しました。



所沢市の水道管破裂の現場を調査



工事完了目安は5月中旬

キャビン推定位置

水村議員は、県民の皆さまの安全と安心を最優先に考え、引き続き全力を尽くしてまいります。今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

2月議会の現場から

2月19日(水)から3月27日(木)まで2月定例県議会を開き、2兆2,309億円(前年度比+5.2%)の令和7年度一般会計当初予算案や条例改正案等の知事から提案された85議案と議員提出議案21議案の合計106議案を可決・承認・同意しました。令和7年度の全会計(一般会計・特別会計・企業会計)の合計額は3兆7,018億円です。

人口減少・超少子高齢社会の到来と激甚化・頻発化する自然災害などへの危機対応という「歴史的課題への挑戦」と、日本一暮らしやすい埼玉の着実な実現という「未来への躍進」の為の重点分野への予算配分が特徴です。

水村議員が要望してきた保育士の処遇改善や、教職員の働き方改革の推進、中小企業支援として円滑な価格転嫁、若者やシニアと県内企業とのマッチング、介護人材の確保などに数々の前進がみられることから、水村議員は予算案に賛成しました。

また八潮市内で発生した道路陥没事故について、一日も早い救出及び復旧に向けた工事の為の総額90億円の補正予算も可決しました。

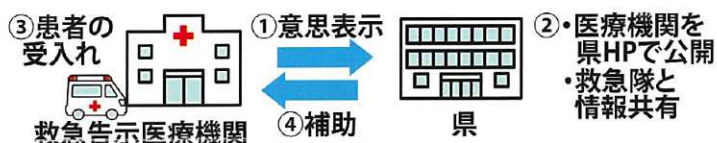
医療体制の強化

県の課題である医師不足の解決に向けて、水村議員は何度も県議会で取り上げてきました。今回新規事業も始まり少しずつ改善が見られています。

新規 救急医療体制の強化

●75歳以上の搬送困難患者の受入体制強化

・受入要請3回以内に受け入れるための体制確保補助



●夜間の小児初期救急患者の受入体制整備

・22時から翌8時に受入れを行う拠点医療機関の補助



その他の特徴的な予算

- 全国最多の警察官の増員(175人)
- 消費者被害対策の推進(AI電話相談を導入)
- 朝のこどもの居場所づくり(小学校始業前に預かる)
- カスタマーハラスメント防止対策の強化

航空発祥記念館リニューアルに11億円!

所沢航空発祥記念館が、何度も来たくなる航空系ミュージアムを目指し、実機展示の強みを残しつつ、民間企業などと連携した航空に関する仕事を体験できるブースなどを盛り込んだ展示リニューアルを行います。**工事は2025年9月から始まりリニューアル開業は2027年春を予定しています。**



水村議員は2023年9月議会でもリニューアルについて質問!

その他の所沢市関係の予算

- 大江戸線や多摩都市モノレールの延伸調査検討費
- 所沢児童相談所一時保護所の建替えに向けた整備
- 道路・河川関係費は、国道463号線松郷交差点立体交差化の工事費や飯能所沢線の事業費など26か所

活動トピックス

避難所の環境改善を

2月に新潟県中越地震(2004年)の記憶と教訓を未来に伝えるために設立された、おぢや震災ミュージアム(小千谷市)を視察調査。地震の被害を写真や映像で振り返るコーナーがあり、被災者の声や当時の救援活動を通じて、地域の人々が経験した困難と協力の重要性を学びました。万が一の際の県内の避難所運営の参考にさせて頂きます。



避難所生活を体験

所沢市のトピックス

所沢市が中核市移行で市民サービスを拡充

3月28日、所沢市が「中核市移行に向けた埼玉県への協力要請」を大野知事に行い、水村議員も同席。市は2030年4月の中核市移行(保健所設置)を目指しています。移行することで、感染症対策の拠点となる保健所を自前で設置できるほか、様々な市民サービスをより身近なものとして提供できるようになります。水村議員は、所沢市の負担を軽減し、円滑な移行が実現するよう、積極的に働きかけています。



保健所建設予定地の所沢市生涯学習推進センターグラウンド



ホームページ・SNSで情報発信中!

お問い合わせは...atsuhiro@mizumura.org

連絡先 埼玉民主フォーラム 所沢支部(水村篤弘事務所)

〒359-0034 埼玉県所沢市東新井町256-1 タイびる航空公園202

TEL&FAX.04-2998-6555

水村あつひろ

ニュース

埼玉民主フォーラム facebook

2025年8月発行 働き方改革特集号

【山あり、谷あり、プロフィール】1974年 所沢市上安松生まれ。

私立慈光幼稚園、市立松井小学校、市立東中学校を卒業。

豊島実業高等学校（現：豊島学院高等学校）を中退後、フリーター、会社員を経験。

この時の経験から『社会で苦勞をしている人々の力になりたい』と、政治家になる事を志して、

一念発起して26才で大学へ進学。（在学中は雄弁会にも所属）

拓殖大学政経学部卒業後に、2004年 所沢市議会議員に初当選。2007年に2期目の当選。

2011年 埼玉県議会議員に初当選（西1区＝所沢市）2015年2期目の当選。

2019年3期目の当選。2023年4期目の当選。



今号の
目次

働き方改革

物価高対策の予算

防災庁を県西部へ

「働き方が変わると、未来が変わる」～減少する労働人口への挑戦～

6月に水村議員は経営学者の藤村博之先生の「減少する労働人口で働き方はどう変わるのか」という講演を拝聴しました。



講演後の、働く方たち向けのセミナーでパネリストを務める

変わる若者の労働観と少子化対策のヒント

講演で印象的だったのは、若者の労働観が大きく変化しているという点です。共働きを望む声が高まり、男性も育児に積極的に関わりたいと考えている方が増えています。また、適正な労働時間を求める声も多くなりました。少子化問題は一筋縄ではいきませんが「若年層の所得向上」と「長時間労働の是正」が有効な手立てであると指摘されました。

さらに、女性が出産や育児を機に、仕事を諦める必要のない社会の実現も不可欠です。

高齢者の活躍が社会を元気にする！

高齢者の活躍にも言及されました。日本は諸外国に比べて、60歳以降も働く方の割合、特に男性が高い傾向にあります。仕事を続けることは健康維持にも繋がるのです。高齢者の雇用は若者の雇用を奪うのではなく、互いに足りない部分を補い合う関係性にあるという点も大きなポイントです。

埼玉県が進める「多様な人材への就業支援」

埼玉県では「多様な人材への就業支援」と「働き方改革の推進」に力を入れています。

若者の皆さまには、埼玉しごとセンターなどでのきめ細やかな就職支援、そして従業員の奨学金返還を支援する中小企業等への補助制度があります。また、合同企業説明会「ジョブフェス埼玉」や、メタバースを活用した面接体験など、最先端の技術を取り入れた就職支援も行っています。

女性の皆さまには、女性キャリアセンターによる就職相談、キャリア相談、デジタル人材育成講座などのスキルアップ講座などが充実しています。

シニアの皆さまには、企業での「働く場」の拡大を支援しています。「シニア活躍推進宣言企業」はすでに3,631社に上り、継続雇用上限年齢を70歳以上へ引き上げる企業への補助も行っています。



誰もが働きやすい社会を目指して

働き方改革においては、誰もが働きやすい職場環境づくりを進める「多様な働き方実践企業」の認定を推進しています。男性の育児休業取得促進にも力を入れ、積極的に取り組む企業を表彰するなど、男性も子育てに参加しやすい社会を目指しています。

水村議員は、これらの取り組みをさらに推し進め、私たち一人ひとりが自分らしく輝ける埼玉を築いてまいります。

6月議会の 現場から

6月12日から7月2日まで6月定例県議会を開き、知事から提案された総額134億円の補正予算案など、議案38件を可決・同意・承認しました。2件総額93億円の一般会計補正予算では、高校授業料の無償化に関連し、各家庭の支援を拡充するための費用50億円や、物価高騰の影響を受ける生活者や事業者に対する緊急支援34億円も可決しました。

下水道事業会計補正予算の 41 億円では、1 月に発生した八潮市内での下水道管の破損及び道路陥没事故の仮復旧工事費や悪臭対策の費用、陥没事故現場周辺の事業者への補償などの経費を可決。

県議会では、八潮市道路陥没事故調査等特別委員会を設置して、今後の対応及び下水道施設の老朽化対策等を議論していくことと致しました。

議員提出議案は「道路陥没事故に係る住民・事

業者への速やかな補償を求める決議」や条例改正案、意見書案など19件の議案を可決しました。

物価高騰対策の主な予算

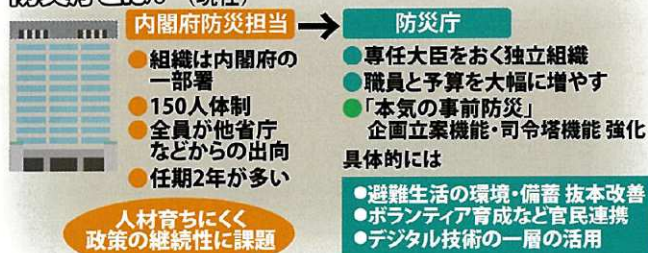
- ・LPガス(プロパンガス)を使用する一般消費者等支援。(都市ガスは国が負担軽減。)23億円。
- ・医療施設・福祉施設・私立学校等支援。9億円。
- ・特別高圧電力を使用する中小企業等支援。2億円。

活動トピックス

日本の防災の要・防災庁を埼玉県西部地域へ!

6月、県西部5市（所沢市など）の市長らが、大野知事に国が2026年度の設置を目指す「防災庁」の誘致の要望書を提出し水村議員も同行。県西部地域は、地震に強い安定した地盤が最大の強みです。防災庁誘致は、県民の生命と財産を守る上でも極めて重要です。実現に向け、水村議員は積極的に働きかけてまいります。

防災庁とは？（現在）



天皇陛下ご臨席!秩父で「人・森・川」をつなぐ全国植樹祭

5月、秩父ミュージアムパークで開催された第75回全国植樹祭に参列。66年ぶりに埼玉県で行われた記念すべき大会で、天皇陛下ご臨席のもと、約5,000人と共に森林の大切さを再認識しました。**水村議員は、緑化の推進と環境保護への決意を新たにしました。**



水村議員もコナラを植樹

知事が所沢へ!歴史と革新が息づく狭山茶の現場を訪ねて

6月、大野知事が所沢市の老舗狭山茶農家「大和園油屋製茶所」を視察され、水村議員も同行。知事は、珍しい「和紅茶」工場や茶摘み風景を熱心にご覧になり、伝統を守りつつ挑戦する生産者

の努力に感銘を受けた様子
でした。水村議員は引き続
き、所沢の狭山茶を多く
の方に楽しんでいただけ
るよう尽力していきます。

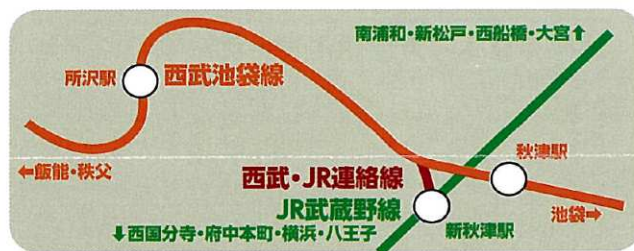


近くの図書館喫茶カンタカで試飲しました

県政トピックス

西武池袋線とJR武蔵野線が2028年度に初の直通運転

西武池袋線とJR武蔵野線が、2028年度をめどに直通運転を実施する方向で検討しているという報道がありました。秩父から千葉・東京湾臨海部まで乗り換えなしでの移動が可能になるとも言われていますが、現在ある連絡線の形状からすると、まだどうなるかわかりません。**水村議員は県民・利用者や地元の商店街の方などのご意見もお聞きしながら、利便性の向上に向けて取り組んでいきます。**



県「洪水予報」を開始・ご登録を!

7月5日夜の集中豪雨により所沢市内などで護岸が一部倒壊するなどの被災が発生。早期復旧に向けて対応を進めています。「埼玉県LINE」や「川の防災情報メール」に登録すると、河川の水位が上昇して危険が迫る場合や、土砂災害警戒情報が発令された場合に、情報が届くようになります。



埼玉県
LINE公式アカウント
(熱中症予防情報も)



**埼玉県川の
防災情報**



ホームページ・SNS(交流サイト)で情報発信中!
お問い合わせは…atsuhiro@mizumura.org

連絡先 埼玉民主フォーラム 所沢支部(水村篤弘事務所)

〒359-0034 埼玉県所沢市東新井町256-1 タイびる航空公園202
TEL & FAX 04-2998-6555

水村あつひろ

ニュース

埼玉民主フォーラム facebook

2025年11月発行 命を守る特集号

【山あり、谷あり、プロフィール】1974年 所沢市上安松生まれ。
私立慈光幼稚園、市立松井小学校、市立東中学校を卒業。
豊島実業高等学校（現：豊島学院高等学校）を中退後、フリーター、会社員（小売業）を経験。
この時の経験から『社会で苦勞をしている人々の力になりたい』と、政治家になる事を志して、
一念発起して26才で大学へ進学。（在学中は雄弁会にも所属）
拓殖大学政経学部卒業後に、2004年 所沢市議会議員に初当選。2007年に2期目の当選。
2011年 埼玉県議会議員に初当選（西1区＝所沢市）2015年2期目の当選。
2019年3期目の当選。2023年4期目の当選。



今号の
目次

命を守る「TKBユニット」

下水道管緊急工事予算

循環型社会へ

命を守る「TKBユニット」とは。体育館へのエアコンの設置を!



参加者の皆さんと意見交換しました!

9月7日、首都直下地震を想定した「九都県市合同防災訓練」が埼玉県内で実施され、その実践的な訓練内容から、県が推進する最新の防災への取り組みを確認しました。本年の県会場（幸手市）では、ドローンを活用した情報収集や、多重衝突事故からの救出など、より現実的に即した訓練が展開され、九都県市間の連携強化が図られました。大規模災害発生時における迅速な救助・救護体制の確立に向けた、強い連携が示されました。

同日、所沢市観光情報物産館では「ママが考えた防災フェス」が開催され、こちらも見学をさせていただきました。市民の皆様が楽しく防災について学べる場となっていました。体験ブースや防災食の試食を通じて、自助・共助の意識を高める活動は、地域の防災力を底上げする上で欠かせません。



埼玉県の防災対策は、特に「避難生活の質の向上」に力を入れている点が注目されます。その象徴が命を守る「TKBユニット」の導入推進です。「TKB」とは、Toilet（トイレ）、Kitchen（キッチン）、Bed（ベッド）の頭文字を取ったもので、災害時に避難所で生活する被災者に対し、快適な居住環境を短期間で提供するためのパッケージです。特に、プライバシーを確保できる間仕切りや清潔なトイレ、ベッドの設置は、避難生活におけるストレス軽減に極めて重要となります。

また、近年厳しさ増している夏の暑さへの対策として、県は、防災拠点校となる県立学校体育館へのエアコン設置を順次進めています。熱中症リスクが高まる中、体育館が安全で健康的な避難スペースとして機能することは、まさに「命を守る」ための最優先課題です。

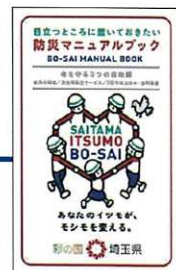
※なお県立高校の普通教室のエアコン設置率は99%以上です。

所沢市では今後5年ほどで、中学校から小学校へと体育館へのエアコンの設置を進めていくとのこととです。

大規模災害は「いつか」ではなく「いますぐ」起こり得る現実として、埼玉県は訓練とインフラ整備の両面から備えを強化しています。

水村県議は、県民の安全と安心を守る為に、県議会で積極的な提言を続けています。

埼玉県 防災マニュアルブック
【家庭での備えに活用を】



9月議会の現場から

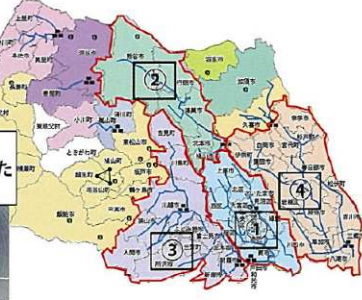
9月24日から10月15日まで9月定例県議会を開き、知事から提案された総額151億円の補正予算案や条例改正案など、議案32件について可決・同意・承認しました。このうち議員提出議案は「熱中症対策に係る労働環境整備のための財政的支援を求める意見書」や条例改正案など17件です。

下水道管緊急工事と八潮補償

下水道事業会計補正予算 63 億円では八潮道路陥没事故で被害を受けた住民・事業者への補償として 7.8 億円、下水道管路の全国特別重点調査の結果を踏まえ、速やかな対策が必要な約 3 キロ 21 箇所の工事に 55 億円を計上しました。

下水道管の緊急改築工事位置図

- ① 荒川左岸南部(戸田市ほか)
- ② 荒川左岸北部(桶川市ほか)
- ③ 荒川右岸(朝霞市ほか)
- ④ 中川(三郷市ほか)



一般会計補正予算88億円の主な内容

- 道路や河川などの公共事業 84億円
- 病床数の適正化を進める医療機関への支援 4億円

活動ピックアップ

県民と48団体の思いを政策として知事へ

10月15日に水村県議の所属する埼玉民主フォーラムから知事に、来年度予算への178項目の要望書を提出。日頃、県民の皆さまからお聞きしているご意見・ご要望や8月から48団体(医師会や商工会議所、建設業団体など)と意見交換を行うなどして要望書を作成しました。



ご意見をありがとうございました。

被爆80年の誓い

アメリカが日本に原子爆弾を使用して多くの非戦闘員が犠牲になり80年という、重要な節目となる今年8月に、KAKKIN(核兵器廃絶・平和建設国民会議)埼玉の議長として、原爆死没者慰霊碑に参拝させて頂きました。また初めてとなる所沢市主催の平和祈念式が行われ参列をさせて頂きました。唯一の戦争被爆国である日本には、特別な責任があります。現実主義に基づき、真に平和で豊かな世界を実現するため、尽力してまいります。



原爆ドームなども訪問

県政トピックス

◆リチウムイオン電池の再資源化 県と所沢市が連携

県は、サーキュラーエコノミー(循環型経済)の取組みの一環として、リチウムイオン電池からレアメタルを回収する、実証試験を所沢市など6市と連携して実施しています。家庭で分別をして出したリチウムイオン電池などを、**ごみ処理施設(所沢市では東部クリーンセンター)**で選別して、民間企業に買取をしてもらい再資源化につなげます。リチウムイオン電池による火災事故が各地のゴミ処理場などで増加していることから、分別排出の徹底をお願いします。



所沢市トピックス

◆所沢市ごみ処分場完成 県内初の屋根付き

所沢市南永井に**県内初となる屋根付き(においや浸出水を抑制)**の新たな一般廃棄物最終処分場が完成。**20年ぶりに自区内処理の原則**を果たすことができます。埋立地の隣には24時間開放型の多目的広場や生物多様性体験広場を整備。周辺にお住まいの方々など、皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。



総工費は62億円、15年間使用予定。

◆航空発祥記念館がリニューアル工事へ

航空発祥の地・所沢市にとって貴重な財産である県立航空発祥記念館が1993年の開館以来、**初の大規模リニューアル**のために、9月1日から



リニューアルオープンは2027年春(予定)

長期工事に入りました。なお記念館横の駐車場も長期閉鎖中ですのでご注意ください。

**水村県議は、2023年9月議会で
リニューアルについて一般質問**



ホームページ・SNS(交流サイト)で情報発信中!
お問い合わせは…atsuhiko@mizumura.org

連絡先 埼玉民主フォーラム 所沢支部(水村篤弘事務所)
〒359-0034 埼玉県所沢市東新井町256-1 タイびる航空公園202
TEL&FAX.04-2998-6555

水村あつひろ

ニュース

埼玉民主フォーラム facebook

2026 年 1 月発行 新春号

【山あり、谷あり、プロフィール】1974年 所沢市上安松生まれ。
私立慈光幼稚園、市立松井小学校、市立東中学校を卒業。
豊島実業高等学校（現：豊島学院高等学校）を中退後、フリーター、会社員を経験。
この時の経験から『社会で苦勞をしている人々の力になりたい』と、政治家になる事を志して、
一念発起して26才で大学へ進学。（在学中は雄弁会にも所属）
拓殖大学政経学部 卒業後に、2004年 所沢市議会議員に初当選。2007年に2期目の当選。
2011年 埼玉県議会議員に初当選（西1区＝所沢市）2015年2期目の当選。
2019年3期目の当選。2023年4期目の当選。



今号の
目次

新年の決意

カスハラ防止条例成立

子どもの居場所づくり

新年の決意「誰もが安心して年齢を重ねられる、温かい埼玉へ」

明けましておめでとうございます。昨年は、コメをはじめとする物価高騰や大規模な山林火災など、生活に直結する課題が多い一年でした。こうした困難な時こそ、政治が皆さまの「暮らしの防波堤」とならなければならないという決意を改めて胸に刻みました。

重要課題「安全」への取り組み

昨年、県政では、いくつかの大きな課題に直面しました。特に、八潮市で発生した道路陥没事故は、県民の安心・安全を根底から揺るがす出来事でした。私は事故の重大性を踏まえ、住民の皆さまの健康被害や物的損害へのきめ細かな補償、そして県内インフラの総点検と老朽化対策の迅速な推進を強く求めました。

一方で、県土の安全を守ることは、豊かな自然環境を守ることにも通じます。春には県内での66年ぶりの植樹祭が無事に開催され、未来へ緑の財産をつなぐ決意を新たにすることができました。

喫緊の課題：2025年問題と「健康長寿社会」の実現

昨年は団塊の世代がすべて75歳以上となる「2025年問題」が本格的に到来しました。本県の高齢化は急激に進んでおり、健康寿命の延伸や、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる「地域包括ケアシステム」の強化が急務です。

私は議会活動を通じて、健康寿命の延伸、高齢者の皆さまの移動手段確保、デジタル活用による見守り支援、介護人材の確保など、「誰もが尊重される長寿社会」の実現に向けた施策を力強く推進してまいりました。



地域包括ケアシステムの全体像



現場に答えあり～皆さまの声を県政へ～

昨年も、多くの県民の皆さまから切実なご相談やご意見を頂きました。身近な道路のことや福祉制度のこと、カスハラ対策など一つひとつの声を着実に県の施策へと反映させてまいりました。

本年も、地域の行事や集会、街頭など、様々な現場に足を運び、皆さまの「生の声」を政策の力に変えてまいります。どうぞ行事などにお気軽に呼んで下さい。そして引き続き、ご意見や要望をお寄せ下さい。



12月1日から12月19日まで12月定例県議会を開き、知事から提案された総額890億円の補正予算案や条例案など、議案71件について可決・同意・承認しました。このうち議員提出議案は国に対して「高校授業料無償化に係る事務の簡素化及び制度の早期確立を求める意見書」など11件です。

